心の通う対話の市政 進行中

Voice「ヴォイス」

みよし市では、皆さまからの市政に対する意見を久野知英市長が直接お聴きする「市長とのふれあい座談会」を開催したり、提言箱などから「皆さまの提言」をいただいたりすることで「心の通う対話とガラス張りの市政」を進めていこうと努めています。

また、市長が率直な思いを綴るコラムやコミュニティーFMに生出演する「市長ホットライン」を放送するなど、市長を身近に感じていただき、市政に関心を持っていただく取り組みをしています。

●市長ホットライン放送予定

▼とき＝2月6日(月)午前8時(生放送)、午後6時(再放送)

▼放送局＝エフエムとよた ラジオ・ラブィート(78・6MHz)

連載第101回

コラム Column

間もなく新庁舎が完成します

今年の冬は、ラニーニャ現象の影響で昨年より少し寒い感じがしますが、暦の上では間もなく春。これからは三寒四温、日増しに暖かい日が多くなっていくと思います。しかし、季節の変わり目は風邪をひきやすい時期でもあります。皆さんも十分お気を付けください。

さて、市役所新庁舎の完成も間近に迫ってきました。2月上旬からは、建物全体を覆っている足場や安全シートも解体され、全容が確認できるようになると思います。4月中旬には、完了検査と引き渡しが済み、順次引っ越し作業を始める予定。新しく購入する備品などは、早い段階で搬入できますが、現在も使用している多くの机や椅子など、使えるものは極力、新庁舎でも使っていきます。移動は直前にしかできないので、ゴールデンウイークを利用して全て完了し、5月7日(月)から新庁舎で執務開始という手順で進めています。

短い期間で工事を進めているため、時間的な余裕が無いこともあり、市民の皆さんを対象にした内覧会の開催は難しいかもしれません。今の段階で、はっきりしたことは書けませんが、新庁舎での業務が始まってからでも、土・日曜日を利用するなどして、皆さんに完成した庁舎の内部(免震装置など)を、見ていただく機会を設けたいと思っています。

話は変わりますが、東日本大震災から間もなく11カ月、いまだに余震が発生しています。その影響かどうか分かりませんが、この地域でも体感する地震が多くなったと感じています。中でも昨年12月14日の午後1時ごろ、「ドン!」という縦揺れとともに「グラグラッ!」と来た時には少し身構えましたが、昨年3月11日の揺れとは全く違ったため東海地震ではないと直感しました。その時、みよし市は震度3、豊田市は震度4、震源は岐阜県の豊田市寄りだったので、震源地に近い旧小原地区では、棚の上の物が倒れたようです。一方、工事中の新庁舎内では、免震装置の要でもある直径1メートルの免震ゴムが0・5ミリ動いただけで、6階や7階で作業をしていた人たちでも、誰も揺れに気が付かなかったそうです。

この装置の効果はてきめん。地震における安全、安心が担保されたと自信を深めました。

みよし市長 久野知英

皆さまからの提言をお待ちしています

みよし市では、市政に対する皆さまからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。その他、下記①から③のいずれかの方法でも受け付けています。

▶提言箱設置場所＝市役所、サンネット、サンアート、市民病院、総合体育館、中央図書館

①電子メール…✉teigen@city.aichi-miyoshi.lg.jp

②ファクス…FAX(34)6008

③郵便…〒470-0295 みよし市役所秘書広報課あて(住所不要)

携帯電話からメールで提言できます

※皆さんからいただいた提言は、市全体に対する提言として捉え、個々への回答はしませんが、今後の市政運営の参考にさせていただきます。

みよし市ホームページ(URL http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp)の各ページ下部にある各担当課への「お問い合わせ」フォームをご利用いただいた問い合わせに対しては、担当課から直接回答させていただきます。秘書広報課☎(32)8357